

H29 都市計画マスタープラン 目次

第1編 長野市都市計画マスタープラン改定にあたって	1
第1章 はじめに	2
1 都市計画マスタープランとは	2
2 都市計画マスタープランの位置づけ	2
3 都市計画マスタープランの役割	3
4 長野市都市計画マスタープランの構成	3
5 対象区域と目標年次	4
6 改定の経緯	4
7 改定の背景	4
8 立地適正化計画	5
第2章 市勢の概要	6
1 位置・地勢	6
2 沿革	7
3 都市計画の沿革	8
第3章 現況と都市づくりの課題	9
1 現況と 20 年後を想定した課題	9
2 都市づくりの課題に対応する視点	21
第2編 全体都市づくり構想	27
第1章 都市づくりの理念・目標	28
1 都市づくりの理念（都市づくりの方向性）	28
2 都市づくりの目標	30
第2章 将来の都市構造	33
1 都市構造の基本的な考え方	33
2 都市構造の形成方針	34
3 都市拠点・地域生活拠点の整備方針	37
第3章 土地利用の方針	40
1 土地利用の基本方針	40
2 土地利用区分ごとの方針	43
第4章 道路・交通施設整備の方針	46
1 道路・交通施設整備の基本方針	46
2 道路・交通施設の整備方針	47
第5章 自然環境の保全と都市環境整備の方針	54
1 自然環境の保全と都市環境整備の基本方針	54
2 自然環境の保全と都市環境の整備方針	54
第6章 都市景観整備の方針	57
1 都市景観整備の基本方針	57
2 都市景観の整備方針	57
第7章 防災都市づくりの方針	60
1 防災都市づくりの基本方針	60
2 防災都市づくりの整備方針	60

第3編 地域別街づくり構想	63
第1章 地域別街づくり構想の構成	64
1 地域区分改定の考え方	64
2 地域別街づくり構想の内容	65
第2章 地域別街づくり構想	66
1 長野駅善光寺口周辺地域	66
2 善光寺周辺地域	72
3 芹田・安茂里地域	78
4 東部地域	84
5 北部地域	90
6 若槻・浅川地域	96
7 千曲川沿川地域	102
8 川中島・更北地域	108
9 篠ノ井地域	114
10 松代・若穂地域	120
11 北部山間地域	126
12 西部山間地域	134
第4編 都市計画マスタープランの実現に向けて	141
第1章 部門別の実現化方策	142
1 都市づくりの実現に向けた取組み	142
2 土地利用の実現化方策	144
3 道路・交通施設整備の実現化方策	150
4 自然環境保全と都市環境整備の実現化方策	153
5 都市景観整備の実現化方策	156
6 防災都市づくりの実現化方策	159
第2章 地域や地区での街づくりの推進	162
1 街づくり推進のための基本方針	162
2 地域特性を尊重した住民主体の街づくりの基本方針	165
第3章 都市づくりの進捗管理	169
用語の解説	170

注釈) 黄色着色箇所は、今回の主な検討箇所

前回改定からの変化点について（現行計画 第1編）

第1編 長野市都市計画マスタープラン改定にあたって	
第3章 現況と都市づくりの課題	
1 現況と20年後を想定した課題	2 都市づくりの課題に対応する視点
(1) 人口減少・高齢化と市街地の拡大 ① 長野市の人口 ↑コメント)・過去人口推計より若干緩やかに減少 ② 人口の分布 ↑コメント)・長野駅近隣の地区は人口増 ・中山間地域は老年人口も減少 ③ 市街地の郊外拡散 ↑コメント)・DIDが調整区域に拡大	(1)人口減少・少子高齢社会に対応した土地利用、都市構造に関する課題 ① 人口減・少子高齢化に向けた対応 ・集約型の都市構造への誘導（公共交通の面でも） ・子育てしやすい住環境 ・まちなか居住（職住近接） ・交流人口の増加 ② 公共交通の確保 ・公共交通を使用しやすい都市づくり（集約型の都市構造への誘導） ・地域連携、既存ネットワークの強化 ③ 中心市街地の活性化 ・商業、業務、居住といった様々な都市機能の集積による都市の顔づくり ④ 広域市町村連携の必要性 ⑤ 中山間地域などの整備と地域間の連携強化 ・新たな居住者や訪問者の増加 ・中心市街地との連携の強化 ・生活の核となる機能の集積 ・自然・農地等の保全と居住地の無秩序な分散を防ぐため、既存集落の環境整備と秩序ある土地利用の誘導 (5) 官・民の連携（協働、パートナーシップ）に関する課題 ① 都市の資産（ストック）の活用 ② まちづくりにおけるパートナーシップの重要性 ③ 民間活力の導入、官民連携
(新) 産業の現状 ① 産業用地の現状 ↑コメント)・既存工業用地内に一定規模以上の未利用地がない	
(6) 人口減少下における都市のストック（都市インフラや住宅など）の課題 ① 一斉に更新時期をむかえる都市インフラ ↑コメント)・コラムで八潮下水陥没 ② 空地・空家の増加	
(2) 自家用車依存の交通の現状 ① 自動車利用と公共交通の状況 ② 人口集積と公共交通の状況 ↑コメント)・バス利用圏域の人口密度が低い 新 自転車交通の状況	
(3) 環境・エネルギーの現状 ① 緑の現状 ↑コメント)・特に中心市街地の緑被率が減少（資料：緑を豊かにする計画） ② 温室効果ガスの排出状況	
(4) 特徴的な景観や豊富な都市資源の存在 ① 市街地の景観 ② 良好な自然景観 新 歴的風致の維持向上	(3) 自然環境の保全と都市環境整備に関する課題 ① 自然環境の保全と市街地の緑の充実 ・中山間地域の山林や千曲川、犀川などから構成される長野市の骨格的な自然景観の保全 ・中心市街地等では緑や水辺など自然要素を取り入れた良好な環境整備や景観を大切にしたい市街地形成 ② 地球温暖化対策に関する都市づくりでの対応 ・省エネルギー化、再生可能エネルギー等の活用 ・自家用車に過度に頼らない交通への転換などによる温室効果ガスの削減 (2) 長野らしさを活かした都市づくりの課題 ① 長野の魅力（自然、歴史、文化）の都市づくりへの取り込み ・訪れてみたくなる場所づくり ・中心市街地等の歴史的建築物や街並みの保全や効果的な活用 ・郊外の市街地や幹線道路沿道等において景観に配慮した街並みづくりや土地利用の誘導
(5) 安全・安心確保の必要性 ① 効果的な防災・減災対策の必要性 ↑コメント)・R元年台風の水害 ・災害リスクのある市街地で人口増加など	(4) 防災都市づくりに関する課題 ① 大規模災害への備え ・大地震などの災害に強い都市づくり ・災害リスクを考慮した土地利用誘導

網掛け色凡例

：改善・緩和 / ：悪化、関心の高まり / ：市民意識調査確認

前回改定からの変化点について（現行計画 第2編）

第2編 全体都市づくり構想		第2章 将来の都市構造	第3～7章	
第1章 都市づくりの理念・目標		1 都市構造の基本的な考え方	1 ○○の基本方針	2 ○○の整備方針等
1 都市づくりの理念 （都市づくりの方向性） ● 自然・歴史・文化などを活かし、「誇り」と「愛着」のもてる暮らしやすい都市 ● 様々な魅力と活気が感じられる、多くの人を惹きつける都市 ● 安心して自由に活動し、元気で過ごせる、皆で共に支えあう都市 ↑コメント）総合計画改定の方向性を要確認 ↑コメント）アンケート結果を要確認	2 都市づくりの目標 目標1 誰もが住みやすく移動しやすいコンパクトな街にする 目標2 都市の資産を上手に使い再生する 目標3 自然・歴史・文化などの地域特性を活かした長野らしい特色ある地域づくりを図る ↑災害に強く安全・安心なまちづくり（区域マス）	コンパクトな都市（集約型都市構造）とするための「都市拠点」と「都市軸」の形成 ・多様な都市機能が集積し都市生活・活動の核となる「都市拠点」の形成 ・拠点間の都市機能の連携を確保するとともに、市域外との連携を強化する「都市軸」の形成 地域資源を活かし各地域が連携した一体的な都市の形成 ・豊かな自然の保全とともに、観光業の振興を図る「自然観光拠点」の形成 ・「自然観光拠点」や「地域拠点」などを結び、市外との連携を強める「地域交流軸」の形成 ・市内に点在する歴史的な街などを結び、歴史・文化の交流や周遊性を高める「歴史交流軸」の形成	第3章 土地利用の方針 1 土地利用の基本方針 ● コンパクトな街の形成のための土地利用の誘導 ↑長期的な視点で市街化を抑制する必要がある場合には市街化調整区域への編入や必要な土地利用規制・制度を導入（区域マス） ↑新規空家等の大幅な増加が見込まれる空き家の利活用（空家等対策計画） ● 地域特性を活かした土地利用の誘導	2 土地利用区分ごとの方針 （1）市街地中心部（中心商業・業務複合地） ↑商業・居住・宿泊などの都市機能の充実、歩行空間の整備及び景観形成、多くの人が訪れ交流する場の創出（区域マス） ↑「つくり方」から「使い方」へ（長野中央西地区市街地総合再生基本計画） （2）周辺市街地（複合市街地、一般住宅地） （3）市街地縁辺部（専用住宅地、工業地） ↑新たな産業団地開発（産業立地ビジョン） （4）平地部の集落（田園居住地） ↑災害の恐れが高く、開発行為や建築物の立地の抑制が必要な地域等、地域の実情に応じて、開発許可制度の運用を検討（区域マス） （5）中山間地域の集落（中山間地域） （6）高原住宅・観光拠点 （7）森林、自然公園等
			第4章 道路・交通施設整備の方針 1 道路・交通施設整備の基本方針 ● コンパクトな都市（集約型都市構造）を支える交通整備 ● 交通需要の平準化・効率化を図るための交通需要管理や効率的な道路整備 ● 安全・安心で環境にやさしい交通施設整備	2 道路・交通施設の整備方針 （1）道路整備の方針 ① コンパクトな都市（集約型都市構造）を支える道路の整備 ② 安心・安全な道路の整備 （2）公共交通整備の方針 ① 基幹公共交通軸 ② 地域公共交通軸 ③ 中山間地域公共交通網 （3）交通利用環境の整備 ① 交通需要マネジメントの推進 ② 既存道路の改善 ③ 公共交通の利用環境の充実 ↑駐輪場の整備（自転車の利用促進と公共交通機関の利便性向上）（区域マス） （4）中心市街地の街づくりと一体になった総合的な取り組み ① 歩いて暮らせる中心市街地を支える交通基盤の整備 ② 歩きたくなる交通まちづくり
			第5章 自然環境の保全と都市環境整備の方針 1 自然環境の保全と都市環境整備の基本方針 ● 骨格的な水と緑の形成と緑豊かな都市環境の形成 ● 豊かな自然の保全と活用による自然と人の環境共生型都市の形成 ● 環境負荷の少ない低炭素・循環型都市の形成 ● 地域が主体となった環境配慮への取り組み ↑グリーンインフラの取組の推進（区域マス）	2 自然環境の保全と都市環境の整備方針 （1）緑のネットワークの形成 （2）豊かな自然環境の保全 （3）田園など既存の自然環境の保全と活用による潤いある都市環境の形成 （4）緑と身近にふれあえる環境整備 （5）公共施設や民有地の緑化 （6）省エネルギーや公共交通の利用促進などの推進
			第6章 都市景観整備の方針 1 都市景観整備の基本方針 ● 長野市を形づくる骨格的な景観の保全と自然と調和した良好な景観の形成 ↑太陽光発電ほかエネルギー施設の景観基準（区域マス） ● 地域特性に応じた魅力的な景観づくり ● 環境共生型都市＊の景観づくり ● 地域が主体となった景観づくりへの取組み	2 都市景観の整備方針 （1）骨格的な自然景観の保全・育成 ① 豊かな山並みの景観保全 ② 水辺の景観の保全と向上 （2）歴史的に育まれてきた特徴ある景観の継承 ① 歴史と文化を象徴する景観の継承 ② 市民に親しまれてきた自然や緑の景観の保全 （3）市街地における景観づくり ① 商業・業務地での景観形成 ② 住宅地の景観形成 （4）地区特性を活かした景観づくり ① 農地や農山村などの景観の保全 ② 沿道の修景と景観形成 ③ 都市と自然が共生した景観保全
			第7章 防災都市づくりの方針 1 防災都市づくりの基本方針 ● 都市整備や街づくりに合わせた地域の防災能力の向上 ● 総合的な治山・治水対策等の推進 ● 地域主体の危機管理体制の形成	2 防災都市づくりの整備方針 （1）拠点の防災能力向上と連携の強化 ① 拠点での防災能力の向上 ② 拠点間の連携強化と緊急輸送道路等沿道の耐震化 （2）市街地整備に伴う防災機能の整備 ↑上下水道管などインフラの耐震化（コラム） （3）自然の保全や防災を総合的に捉えた治山・治水対策の推進 （4）中山間地域などの雪害の防止や積雪時の日常 （5）わかりやすく体系的な防災システムの充実 （6）地域主体の防災・防犯体制の充実 ① 地域が主体となった防災体制の充実 ② 犯罪等が起こりにくい都市空間整備と地域が一体となって防犯に取り組む街づくり

文字色凡例

赤字：上位関連計画の主な改定点（前回改定以降）